

(6) 借入金の状況

① 運転資金

運転資金の借入れの有無についてみると、「借入金あり」と回答した事業所の割合は全体の65.7%となっている。

加工種類別にみると、「水産缶詰・瓶詰」において、運転資金を借入れている事業所の割合が92.3%であり最も高くなっている。また、13加工種類中、12の加工種類において「借入金あり」が5割以上を占めるなかで、「飼肥料・魚油」のみ44.4%と5割を下回っている。

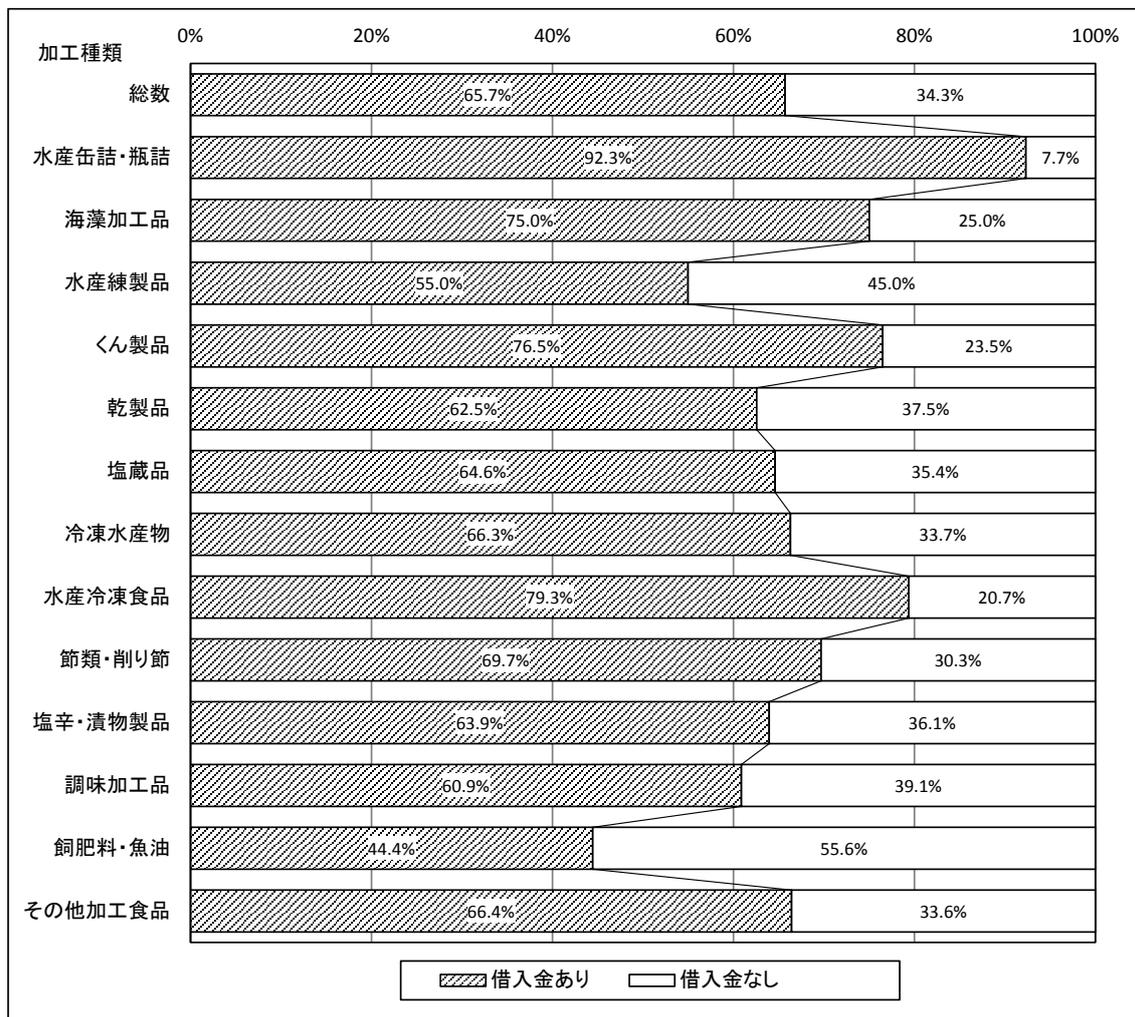


図 II-1-10 運転資金の借入れの有無(構成比)

運転資金の借入れ残高をみると、全体では「1,000～5,000万円未満」（21.1%）の割合が最も高く、次いで「1～5億円未満」（13.8%）、「500万円未満」（8.9%）と続いている。

加工種類別にみると、「10億円以上」の階層で、「水産缶詰・瓶詰」（15.4%）、「塩辛・漬物製品」（11.5%）の割合が全体の傾向に比べて高い。一方で、「水産練製品」では5,000万円以上の運転資金借入れ4階層を合わせても14.2%であり、運転資金の借入れ残高は低い水準となっている。

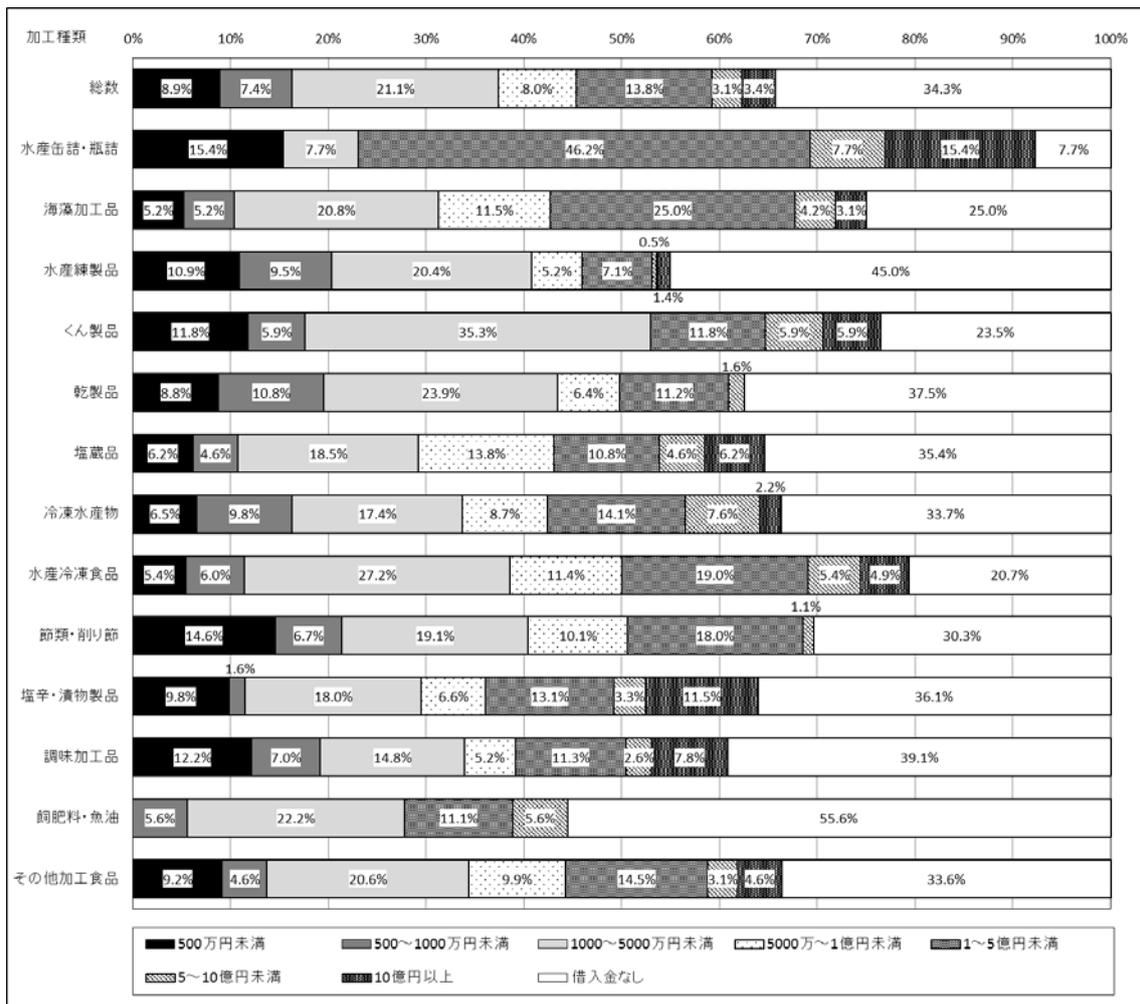


図 II-1-11 運転資金の借入れ残高(構成比)

運転資金の借入れ先について全体をみると、最も多くの事業所の借入れ先となっているのは「都市銀行・地方銀行」(61.9%)であり、次いで、「信用金庫・信用組合」(37.1%)、「日本政策金融公庫」(30.4%)が多い。

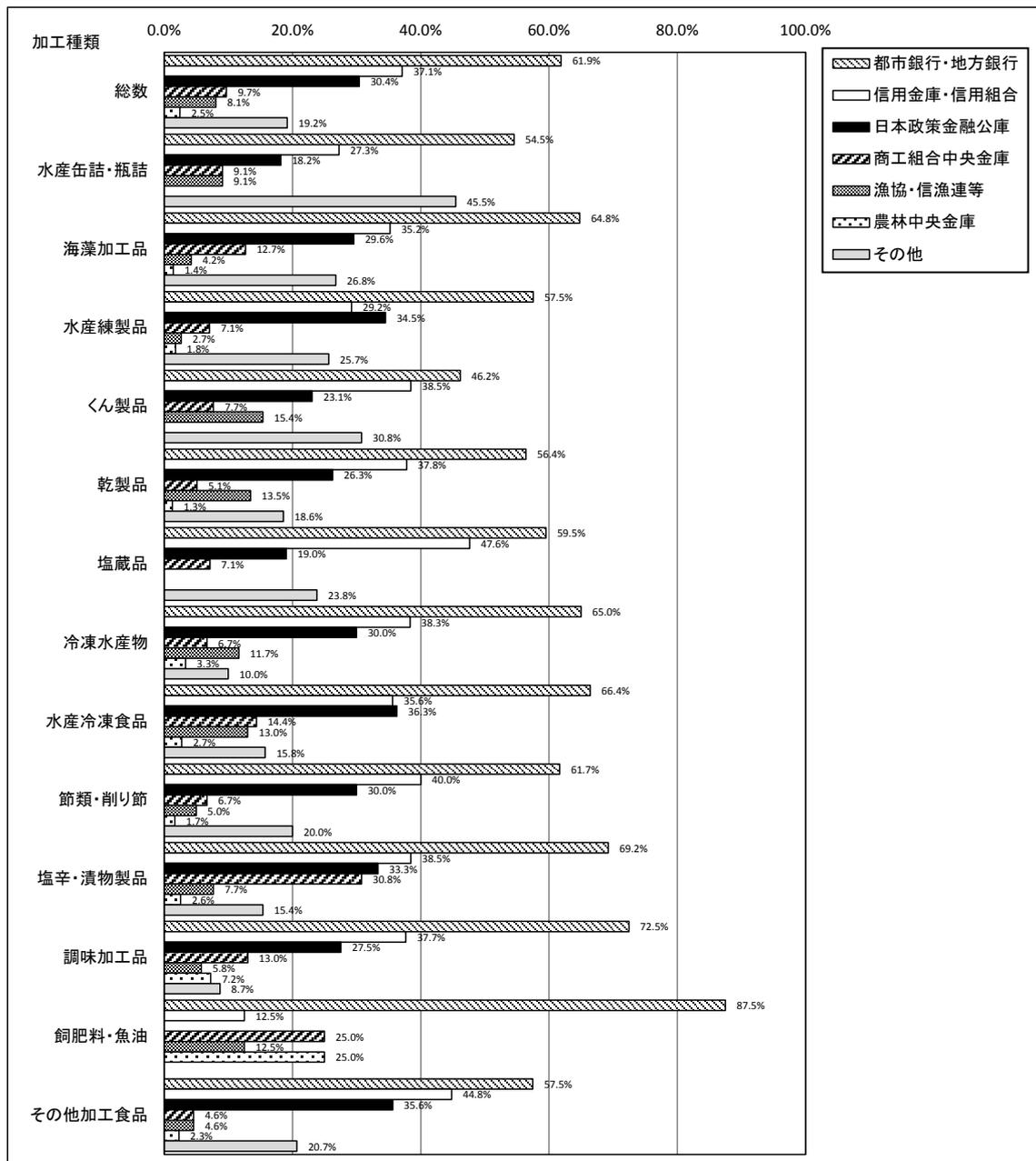


図 II-1-12 運転資金の借入れ先(出現率)

② 設備資金

設備資金の借入れの有無についてみると、全体では借入金あり、なしの割合が同程度となっている。

加工種類別にみると、「飼肥料・魚油」については、運転資金では「借入金あり」の割合が最も低かったが、設備資金では「借入金あり」が68.2%と最も高い割合となっている。最も割合の低い加工種類は「くん製品」(36.4%)であった。

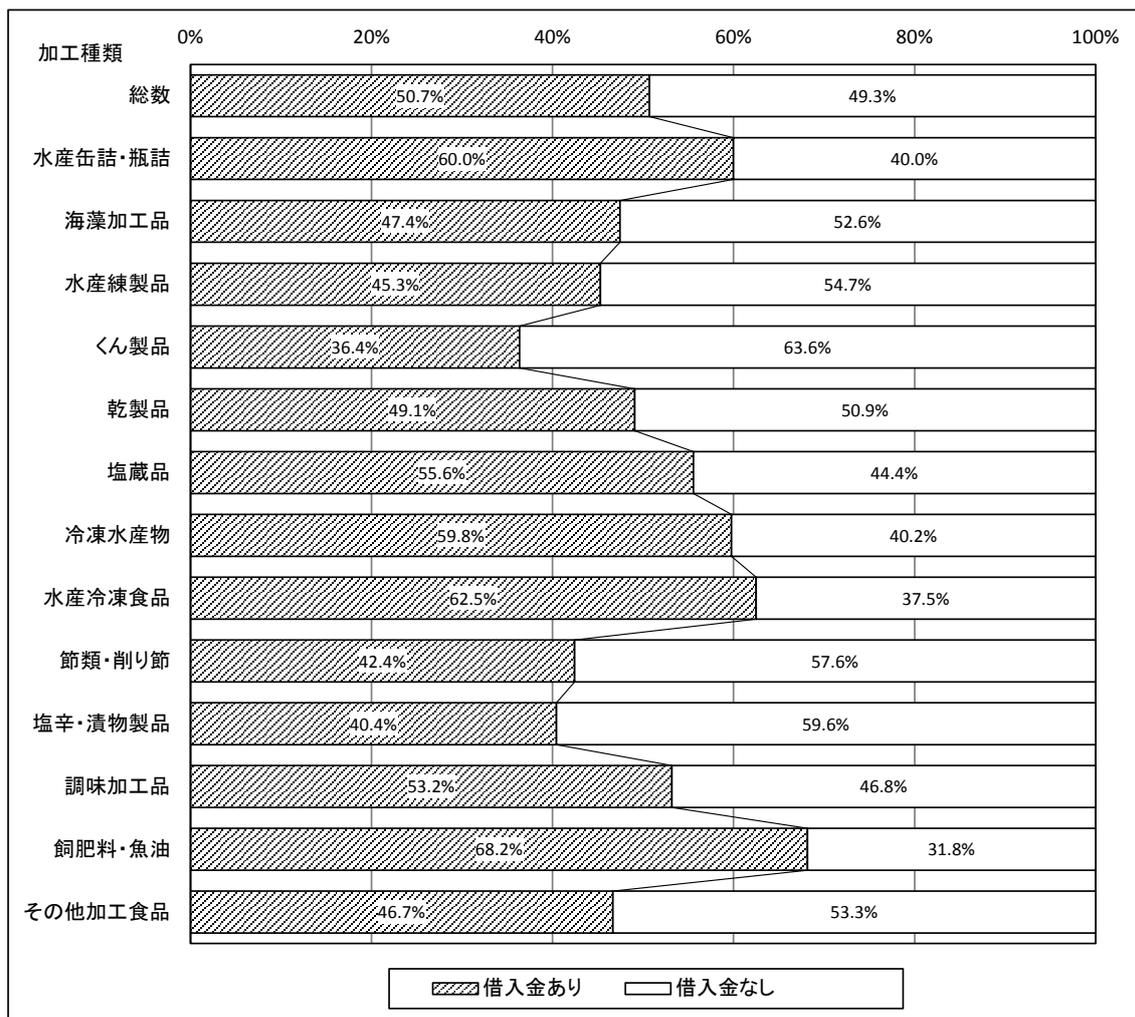


図 II-1-13 設備資金の借入れの有無(構成比)

設備資金の借入れ残高をみると、全体では「1,000～5,000万円未満」（15.1%）が最も高い割合であり、「1～5億円未満」（9.1%）、「500万円未満」（8.8%）と続いている。

加工種類別にみると、「水産缶詰・瓶詰」で「10億円以上」（10.0%）、「5～10億円未満」（20.0%）、また、「飼肥料・魚油」で「10億円以上」（9.1%）、「5～10億円未満」（18.2%）となっている。一方、「くん製品」では全ての事業所が5,000万円未満の借入れ残高であり、他の加工種類に比べて少ない傾向がみられた。

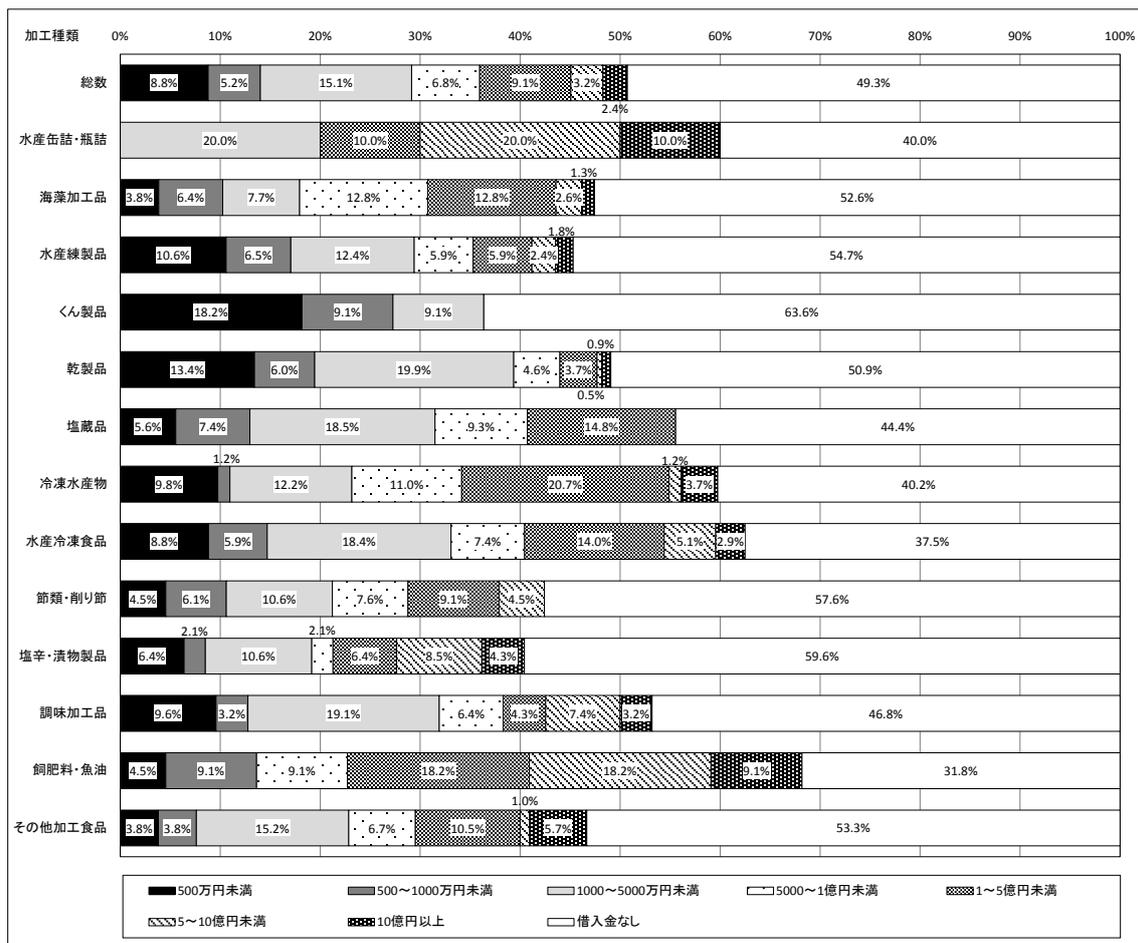


図 II-1-14 設備資金の借入れ残高(構成比)

設備資金の借入れ先としては、全体では「都市銀行・地方銀行」（49.9%）が最も多く、次いで日本政策金融公庫（33.6%）となっている。

加工種類別にみると、「水産缶詰・瓶詰」（33.3%）、「飼肥料・魚油」（40.0%）で他の加工種類に比して「商工組合中央金庫」からの借入れの割合が高くなっている。

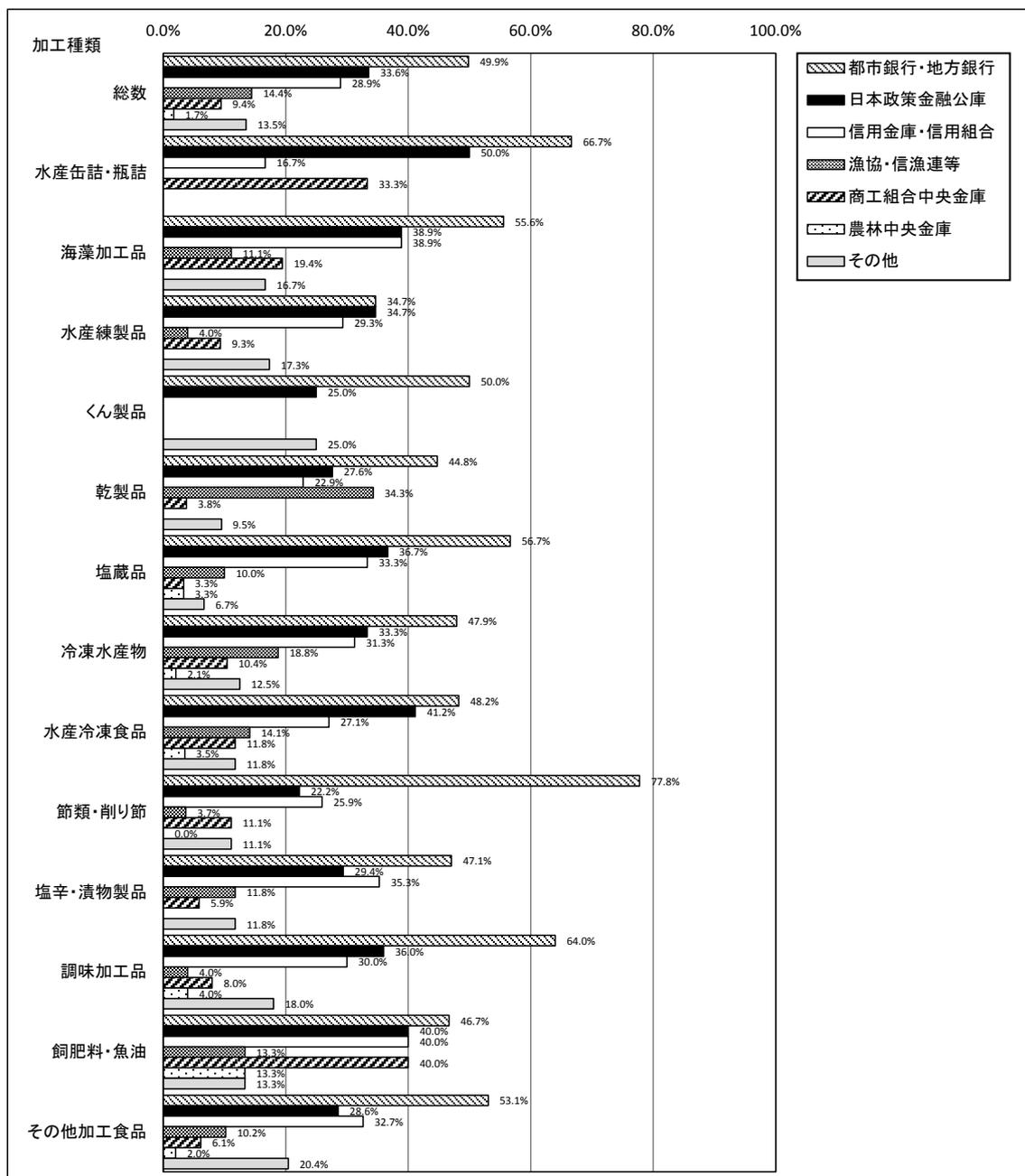


図 II-1-15 設備資金の借入れ先(出現率)